



わだち

明日からの三連休を過ぎれば、後4日で夏休みです。心と体のリフレッシュの計画は立てていますでしょうか。44日間という長い休みの期間は教員だからこそ持っている休業期間です。この間はいつもよりずっと休みが取りやすいです。そしてむしろこのご時世、休みをとることを推奨されます。ほとんどの教員は今年度の20日間の年次休暇と5日間の特別休暇があります。しかし、私の経験では水泳大会や部活動などで5日間の特別休暇を十分にとることも難しかった記憶があります。

さて、今回は

- 1 教員のキャリアアップにつながる資格は その3
- 2 教員のキャリアアップにつながる資格は まとめ

1 教員のキャリアアップにつながる資格は その3

ファイナンシャルプランニング検定3級（FP3級）は、一般社団法人日本FP協会と金融財政事情研究会が実施する、家計に関する基礎的な知識と技能を証明する試験です。試験は今年4月からセンターが用意したパソコンで実施するため、通年実施されています。受検者は受検する月日を選んで受検センターに行って実施することになります。センターでA4用紙とボールペンが貸し出されます。そして、計算はパソコン内の電卓アプリを使用します。この検定に合格すると、国家資格であり、名称独占資格の3級FP技能士を名乗ることができます。試験はライフプラン生活設計、リスク管理保険など、金融資産投資と運用、タックス税金、不動産、相続の全6科目から出題されます。学科は○×方式と3者択一、実技は3者単一で合格率は60%から75%以上です。そのメリットは家計に関する基礎的な知識を身につけることができる。将来のライフプランを立てることができる。お金のトラブルを防ぐことができる。セカンドキャリアや副業に役立つ。などがあります。検定は2つの受検団体があります。ここでは合格率の比較手は高いFP協会を紹介します。なお学科試験はどちらも同じです。詳細はこちらのホームページから知ることができます。

日本FP協会 <https://www.jafp.or.jp/>



3つめはファイナンシャルプランニング検定試験です。前回紹介したメンタルヘルスマネジメント検定試験と同様に1級から3級まであります。違うところはどこから受験してもよいわけではなく、実務経験者や認定検定修了者は飛び級ができます。しかし一般で受検するには一つ一つ合格しないと次の級には進めません。合格基準は1級は70%で2級、3級は60%です。試験には学科と実技があります。ここで紹介するのは比較的取得しやすい3級の検定試験です。

私自身今まで給与や税金に対して事務職員に任せっきりでした。しかし、これを学習するようになって税金や将来設計に対して深く考えるようになりました。また、給与明細も隔々まで見るようになりました。もっと早く学習しておけばよかったと思います。

2 教員のキャリアアップにつながる資格 まとめ

ここまでキャリアアップにつながるかもしれない3つの資格について紹介してきました。登録日本語教員を除いては受験資格がなく、ただ興味を持ってさえいれば、後は学習する気持ちがあれば取得できる資格です。そして、通信教育やオンラインに頼らなければ、テキストや過去問題集で自学が可能です。最後にまとめとして紹介するのは一般に人気のある比較的取得しやすい資格をカテゴリー別に紹介します。ここに紹介するのは2022年度の資料に基づいて作成したものです。時代の流れで各年度ごとに求められることが変化しているので、人気も変化していきます。なお、この資料は「2025年資格 取り方 選び方全ガイド 高橋書店から抜粋したものです。

資格ランキングベスト3

IT編

- 1位 ITパスポート試験（1パス） 合格率51.6%
- 2位 基本情報技術者試験 合格率37.4%
- 3位 応用情報技術者試験 合格率25.3%

ビジネス編

- 1位 日本漢字能力検定（漢検定） 合格率49.6%
- 2位 日商簿記検定3級 合格率37.8%
- 3位 FP技能検定2級 合格率49.4%

生活編

- 1位 家電製品アドバイザー 合格率36.7%
- 2位 アロマセラピー検定 合格率90.0%
- 3位 色彩検定 合格率77.4%

お知らせ

夏の仕事を通じた人生相談の実施について

冬に実施した仕事を通じた無料人生相談を今回はZOOMを使用したオンラインのみ45分間で実施します。火水金の13時から16時に、どこでも自由に、人に知られることなく相談を受けることができます。下記まで希望日時と相談内容をいれて、メールをくだされば、折り返しアドレスとミーティングID、パスコードを送ります。このアドレスから名前とミーティングIDとパスコードを記入してアクセスしてください。

スマートホンからもアクセスできます。あなたの教員としての自分らしさ、やりたいことを応援します。

メールアドレス info@edu-supply.com リンク先 <http://mail-to.link/m9/35mvr2f>

